

Lib. ニュース

VOL.7

「図書館友の会」準備会が始動しました

昨年度で終了した（仮称）葛飾区立中央図書館開設懇談会の中で、新中央図書館の開設を機に、図書館と区民の協働を目的とした利用者組織を立ち上げようということになり、「（仮称）図書館友の会」を立ち上げるための準備会が組織されました。

準備会の活動として、平成 21 年度の中央図書館開館まで次のような活動を行っていくことを確認いたしました。

19 年度は準備会をスタートさせ、図書館の役割や仕事について理解を深めるために、「図書館ボランティア基礎講座」を開催し、「図書館友の会」への賛同者や企画運営に参加する人を募ります。

20 年度は正式に「図書館友の会」を発足していくとともに、基礎講座で学んだことから友の会の活動として、何ができるか検討していきます。

21 年度は開館のプレイベントと開館イベントを開催し、さらに活動を広げていきます。

活動の第 1 弾として、「第 1 回図書館ボランティア講座」を平成 6 月 23 日に開催いたしました。

当日は元懇談会委員のほか 3 月 10 日に実施した「みんなで作ろう！葛飾の図書館」参加者や図書館友の会に関心のある方々をお誘いして、図書館の役割と葛飾図書館の活動について、図書館職員の話聞いた後で、意見交換会を行いました。

次回は図書館裏側ツアーを 9 月頃に実施予定です。



図書館の歴史と役割についてお話を聞きました



みんなで意見を出し合いました

新中央図書館用資料の購入が始まりました

今年度から、新中央図書館用の資料の購入が始まりました。2年半の期間をかけて約10万冊(点)の資料を購入していきます。今年度は一般用、児童用合わせて約35000冊の資料を購入する予定です。購入にあたりましては、(仮称)葛飾区立中央図書館資料収集方針を策定し、下記の基本方針に則り、新中央図書館として適正な資料収集を行ってまいります。

基本方針

葛飾区立中央図書館の資料収集に当たっては、「中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」(平成16年11月)に基づき、計画的な収集に努めることとする。

葛飾区の中央図書館として、あらゆる層の利用に応えるため、幅広い資料を収集する。特に貴重な資料として保存すべき区内で1冊しかない資料については、中央図書館が所蔵するものとする。

地域図書館・地区図書館の蔵書及びレファレンスの後方支援として、より専門性の高い相談に対応するため、専門書をはじめ参考図書、地域資料等を収集する。

高度情報化社会への流れから、今までの図書を中心とした資料の考え方から、データベースやDVD、CD-ROM等などのデジタル資料も主要な資料のひとつとして、積極的に取り入れていく。

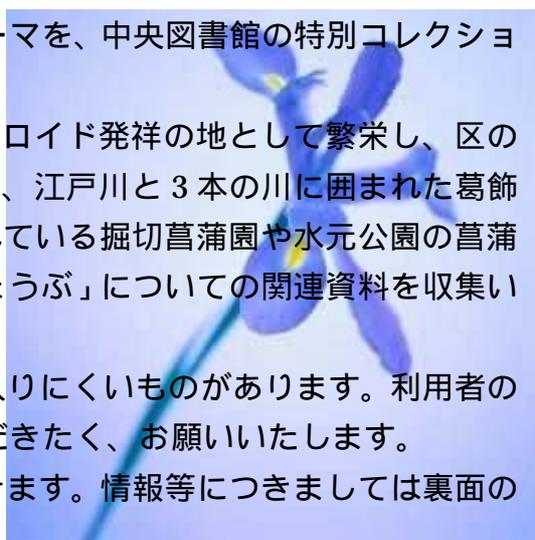
【葛飾区立中央図書館のコレクションについて】

新中央図書館では、葛飾区に関連の深いテーマを、中央図書館の特別コレクションとして収集いたします。

今までも収集してきた「寅さん」、セルロイド発祥の地として繁栄し、区の主要な産業分野でもある「玩具」、荒川、中川、江戸川と3本の川に囲まれた葛飾の地理的特徴である「川」、名所として知られている掘切菖蒲園や水元公園の菖蒲など、葛飾区のイメージとゆかりのある「しょうぶ」についての関連資料を収集いたします。

これらの資料は、通常の流通経路では手に入りにくいものがあります。利用者の皆様から関連資料等の情報や資料提供をいただきたく、お願いいたします。

なお、資料の選定はこちらにお任せいただきます。情報等につきましては裏面の問い合わせ先にご連絡ください。



これを読めば

あなたも図書館通!



(本の選書編)

図書館の本ってどのようにして選んでいるのかしら?と興味をもたれたことはありませんか?

葛飾区立図書館を例にその流れをお教えします。

本の買い方は A) 見本選定による現物購入 B) リクエスト・リスト発注による購入がありますが、いずれも区内図書館の担当職員が集まって選定会を開催し、その中で購入するものを決定します。

A) 見本選定

契約した本屋さんから毎日新刊図書(見計らい本)が運ばれてきます。(届けてもらう本は、種類と冊数があらかじめ決められています)

各館の職員が見本に来た本の中から、館の地域性や利用者のニーズを考慮し、自分の館で購入したい本をチェックしておきます。

B) 週に1度選定会を開催し、見本に来た本1タイトルごとに、購入希望数を取りまとめ、内容を評価しながら葛飾区立図書館で所持すべき本の冊数を決めていきます。

購入が決定した本については、その場でデータを入力して図書館の蔵書登録をし、ラベルや透明フィルムを貼り、貸し出しができるように準備をします。不足した冊数は書店に発注します。

準備の出来た本は翌週の土曜日に各館の新刊本コーナーに並びます。

C) リクエスト・リスト購入

利用者からリクエストを受けた際に、葛飾区立図書館で購入するか、他の自治体から借り受けるかをあらかじめ決めておきます。

書評やカタログ等を参考に各館が購入したい本をあらかじめ選書しておきます。

各館で受けたリクエストや各館で選書した購入候補のリストを、選定会で評価した上で購入を決めていきます。

購入が決まった本はリストを作成し、書店に発注します。

発注した本が届いた後は、A)のと同じ。

リクエストをうけても、品切れ・絶版等で入手不能や購入に至らなかった本は他の自治体から借り受けることとなりますが、提供できないとお断りする場合もあります。

葛飾区立図書館は、すべての蔵書が10館の共有資料という考え方の基で、集中選書を行い、購入する本の冊数や所蔵館を調整しています。より多くの種類の本を購入するために、同じ本(複本)の購入は一定のルールの中で調整しています。

金町六丁目地区市街地再開発組合の進捗状況

【知っていますか？ 工事現場を覆う囲いについて】

再開発ビルの工事現場は安全のため全面囲われていますが、その囲いがちょっと楽しいのです。

再開発事業の概要やどのような施設が入るかの紹介はもとより、昭和初期の写真や貴重な資料で葛飾区の歴史や文化が写真と文章で紹介されています。現場の周りを1周すると、あなたも葛飾通になれるかもしれませんよ！



再開発ビルの概要



葛飾区の歴史と文化



昭和初期の葛飾



着々と工事が進む現場

Lib ニュース VOL.7 平成19年6月30日発行

問い合わせ先 〒125-0051 葛飾区新宿3-7-1

葛飾区立葛飾図書館整備担当係 電話 3607-9201